

ひばり学級1組2組3組教科別の指導「道徳」学習指導案

令和3年 1月20日(水) 第2校時

場 所 ひばり学級1組教室

指導者 T1 大川 仁美

T2 四十八願順子

T3 北島 達己

介助員 関 浩隆

1 主題材名 「ありがとう」を見つけよう 内容項目 【B-8 感謝】

2 本時のねらい

給食を作ってくださっている人達の仕事の内容や思いを知り、感謝の気持ちを持つ態度を育てる。

3 主題材設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編によると、感謝の内容項目の概要に「感謝の気持ちは、人が自分のためにしてくれるという事柄に気付くこと、それはどのような思いでしてくれているのかを知ることで芽生え、育まれる。」と書いてある。

学校には、授業などで直接顔を合わせていなくても、児童の健康や安全を考えて支えてくれている人達がたくさんいる。そこで、学校生活で日頃からお世話になっている人達の仕事の内容を紹介し、感謝の気持ちを持たせたい。

指導にあたっては、直接お世話になっている場面だけではなく、見えないところでもお世話になっている場面も紹介し、自分達のためにどのような仕事をしてくれているのか、どのような思いで自分達のことを支えてくれているのかに気付かせていく。実際に仕事をしている様子の写真を大型テレビに映して見せながら児童と一緒に話し合い、お世話になっている人たちに対して感謝の気持ちを育てたい。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本校の特別支援学級は、男子10名による知的障害学級2クラスと、男子1名による自閉症・情緒学級1クラスが設置されている。本学級の児童は、話し言葉の習得が課題の児童や日常生活の簡単な会話ができる児童までおり、学年や障害の状況、家庭環境の様子が様々で、個人差が大きい学級である。

道徳の「人との関わり」に関する実態をみると、自分から友達に話しかけたり、身振り手振りで気持ちを伝えたりする児童は少なく、ほとんどの児童が、家族や周りの大人との関わりに限られている。また、普段から、周りの大人にやってもらうことが当たり前になってしまっているため、自分から「ありがとう。」の言葉を使う場面がほとんど見られず、こちらから「こんな時は何と云うのかな？」と声をかけられてやっと気づくことが多い。

これまでに児童たちは、礼儀、節度・節制などについて一緒に学習をしてきた。絵や写真を見せて「この場面はどんな様子ですか?」、「してもいいことですか?」の問いには答えられても、自分の思いや考えを伝えることが難しい。このような実態から、一人ひとりに表情カードを渡し、このカードを使うことで自分の気持ちを表現させたい。また、一人ひとりの考えや思いが他の児童にも伝わるように、児童のつぶやきを生かして、言葉を補完しながら授業を進めていくこと、「こういうことだったんだね。」と説明を加えながら進めることに重点を置きたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、給食週間に合わせ、栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの仕事の内容を写真で紹介し、みんなの健康を考えて学校生活を支えてくださっていることを児童たちに気付かせ、感謝の気持ちを持たせるという内容である。それぞれの仕事内容を分かりやすく説明し、どのような思いで仕事をしてきているのかについて触れながら、感謝の気持ちを育てたい。

本時では、主に次の場面を中心に話し合うこととする。

① 栄養士さん

毎日の給食の献立を考えてくれていることや、みんなが給食をバランスよく食べているか、よく噛んで食べているかどうか、などを見ていること、給食日よりなどで季節の野菜や魚を使ったメニューのお知らせをしていることなどについて紹介し、どのような思いで仕事をしているのかについて知る。

② 給食配膳員さん

給食センターから運ばれてきた給食を配膳室からワゴンに乗せて運んでいる様子や、みんなが食べた給食を配膳室まで運んでいる様子を写真で見せる。衛生面に気を付けながら、給食の時間に間に合うように運んでくださっていること、牛乳パックやストロー、パン袋などの片付けてくださっていることなどについて紹介し、どのような思いでお仕事をされているのかを知る。

③ 調理員さん

柏原小学校の分だけではなく、狭山市の小・中学校の分も作っていること、衛生面に気を付けながら、大きなお鍋や調理器具を使って、一度にたくさんの量を作っていること、使用した食器などを毎日洗っていることなどについて紹介し、どのような思いで給食を作っているのかを知る。

以上について、話し合った後、お世話になったこと、してもらって嬉しかったことについて話し合い、たくさんの「ありがとう」を見つけ、感謝の気持ちを持たせたい。

3 研究との関わり

【研究主題】 自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする心の力を育む道徳教育
～考え・議論する道徳を目指した授業づくりを中心に～

上記の研究主題を具現化するために、以下の手だてを講じる。

【手だて】

- ① 大型テレビに写真を映してお世話になっている人達の仕事内容を紹介し、どんな場面でお世話になっているのか、どのような思いで仕事をしてきているのかに触れていく。
- ② 思ったこと、感じたことについては、児童が自分で気持ちを伝えられるようにしたい。そこで、一人ひとりに表情カードを渡し、カードを使って自分の気持ちを表現させたい。また、一人ひとりの考えや思いが他の児童にも伝わるように、児童のつぶやきを生かして、言葉を補完しながら授業を進めていくこと、「こういうことだったんだね。」と説明を加えながら話し合いを進めていく。

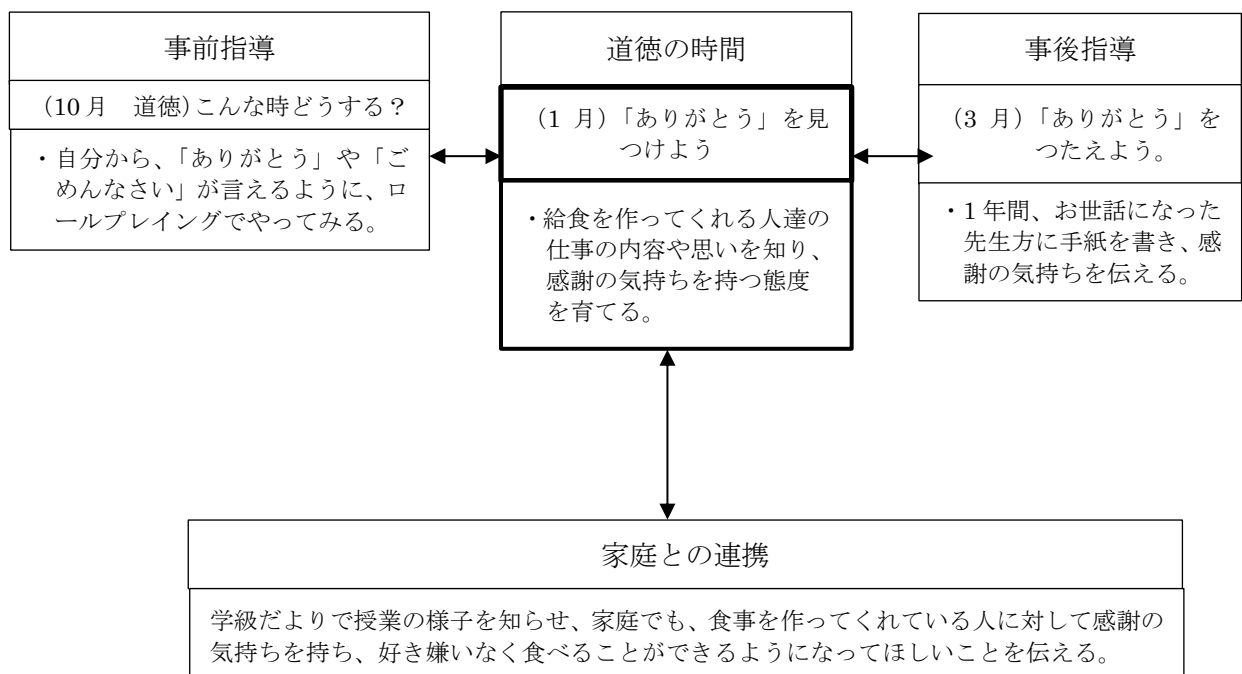
4 本時の学習

時間	学習活動・主な発問	予想させる児童の発言	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 柏原小学校の給食のことを知る。</p> <p>□これから柏原小学校の給食について〇×クイズを出します。</p> <p>① 柏原小学校と広瀬小学校の給食のメニューは同じ。〇か×か。</p> <p>② 給食の量は、1年生から6年生まで、みんな同じである。〇か×か。</p> <p>③ 柏原小学校の給食を作っているのは、おうちの人である。〇か×か。</p>	<p>・それぞれが〇か×かを自分で考えて、頭の上にサインを出す。</p>	<p>・給食に興味を持たせる。</p> <p>① 柏原給食センターでは、小学校4校、中学校2校の給食を作っていること、小学校と中学校とでは、作業の進み具合を考えて、メニューが似ている時と違うことを説明する。</p> <p>② ひばり学級はみんな高学年と同じ量を食べているが、交流クラスでは、低学年、中学年、高学年で大きさや量が違うことを説明する。</p> <p>③ みんなの給食は、栄養士さんがメニューを考えて、柏原給食センターの調理員さんが作っていること、学校に届いた給食を配膳員さんが届けてくれていることなどを説明する。</p>
	<p>2 今日は、給食調理員さん、配膳員さん、栄養士さんの話をします。</p> <p>□はじめに、栄養士さん、配膳員さん調理員さんの紹介をします。</p> <p>□栄養士さんのお仕事について話します。</p> <p>□栄養士さんの仕事内容を振り返る。 ・どんな気持ちで仕事をしているのかな。</p>	<p>・お肉をチェックしている。</p> <p>・おいしい給食を考えてくれるんだ。</p> <p>・お肉は大丈夫かな。</p> <p>・おいしく食べてね。</p>	<p>・栄養士さん、配膳員さん、調理員さんの写真を黒板に貼る。</p> <p>・大型テレビに写真を写す(栄養士さんの仕事の紹介)</p> <p>・献立表やもりつけ表を作っていること、食材のチェックをしていること、時々学校に来てみんなが食べている様子を見ていることなどを知る。</p> <p>・栄養士さんが仕事をしている写真を黒板に貼り、どんな思いで仕事をしているのかを振り返る。</p>

<p>□次に、配膳員さんのお仕事について話します。</p> <p>□配膳員さんの仕事内容を振り返る。 ・どんな気持ちで仕事をしているのかな。</p> <p>□最後に、調理員さんのお仕事について話します。</p> <p>※資料 ①岐阜県可児市 HP 「給食センターの一日」 ②学校給食 狭山市公式ウェブサイト</p> <p>□調理員さんの仕事内容を振り返る。 ・どんな気持ちで仕事をしているのかな。</p> <p>□栄養士さん、配膳員さん、調理員さんが、みんなのこと考えて給食を作っていることが分かりましたね。どんな気持ちになりましたか。</p> <p>□栄養士さん、配膳員さん、調理員さんからメッセージを届いているので、読みます。</p> <p>□栄養士さんや、配膳員さん、調理員さんにお手紙のお返事を書きましょう。</p>	<p>・コンテナが重たそう・ ・数が多くて大変そう。 ・忙しそう。</p> <p>・重たいな。 ・数はそろっているかな。</p> <p>・大きなお鍋だ。 ・おたまが大きい。 ・たくさん作っているんだね。 ・湯気がすごい、熱そう。</p> <p>・熱いなあ。 ・おたまが重たいな。</p> <p>・表情カードを使って自分の気持ちを表す。</p> <p>・お手紙のお返事を自分たちの言葉で書く。</p>	<p>・大型テレビに写真を写す。 (配膳員さんの仕事の紹介) ・4人で柏原小学校のみんなの給食を運んだり、片付けたりしていることを知らせる。</p> <p>・配膳員さんが仕事をしている写真を黒板に貼り、どんな思いで仕事をしているのかを振り返る。</p> <p>・大型テレビに写真を写す。 (調理員さんの仕事の紹介) ・衛生面に気を付けていること、大きなおたまやお鍋を使ってたくさんの量を作っていることなどを知らせる。</p> <p>・調理員さんが仕事をしている写真を黒板に貼り、どんな仕事をしてたのか、振り返る。</p> <p>☆表情カードを使って自分の気持ちを表すことができたか。 ※どうしてその気持ちになったのかを答えられる児童には、理由を聞き、言葉を補完したり、「こういうことだったんだね。」と説明を加えたりしながら、発表者の思いを他の児童に広げる。</p> <p>・「みんなの体のことを考えて一生懸命に給食を作っているので、残さずに食べてほしい。」という内容のメッセージを伝える。</p> <p>・自分で考えることができない児童には、授業の内容を振り返りながら、感謝の気持ちや嬉しかったこ</p>
--	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・えいようしさんへ、おいしいきゅうしょくをかんがえてくれてありがとう。 ・はいぜんいんさんへ、まいにちきゅうしょくをはこんでくれてありがとう。 ・ちょうりいんさんへ、まいにちきゅうしょくをつくってくれてありがとう。 	<p>となどを一緒に考えるが、なるべく、児童の言葉で書くことができるようにする。</p> <p>☆ありがとうの気持ちを自分の言葉で手紙に書くことができる。</p>
<input type="checkbox"/> 頑張ったこと、できたことの確認をする。 ※できたことを褒め、達成感や意欲につなげる。 <input type="checkbox"/> これで授業を終わりにします。あいさつをしましょう。 <input type="checkbox"/> 姿勢を正し、あいさつをする。		☆頑張ったこと、できたことの自己評価をする。

5. 他の教育活動との関連



6. 評価の観点

- ・表情カードを使って、自分の気持ちを表している。
- ・ありがとうの気持ちを自分の言葉で手紙に書くことができる。

7. 板書計画

